記者発表資料

国土交通省
九州地方整備局
九州運輸局

福岡管区気象台

道の駅

令和８年１０月６日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
九州・沖縄 道の駅連絡会

アンダーパスの冠水事故防止に向け、カーナビへ注意喚起情報を配信

～道路利用者の皆様へ注意喚起情報の配信を行います～

〇九州地方整備局では、豪雨災害によるアンダーパス冠水事故防止に向けた取組を進めています。
〇今般、更なる事故防止対策として、豪雨によるアンダーパス冠水が想定される際に、**カーナビ画面にポップアップ表示を実施**することによる注意喚起を開始します。
〇道路をご通行される際は、最新の気象情報に留意していただくとともに、道路交通情報をご確認いただくようお願いいたします。

■配信開始：令和８年10月6日（火）
■配信基準：
①レベル5大雨特別警報が発表された場合
②レベル4大雨危険警報が発表された場合
③その他、アンダーパスの冠水情報を入手した場合等、特に警戒が必要な場合

〇気象情報【気象庁 HP】
［気象警報・注意報］ https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning
［時系列情報］https://www.jma.go.jp/bosai/warning_timeline/#area_type=japan&area_code=010000&efilter=all&lfilter=all
［早期注意情報］ https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=probability
［気象防災速報・気象解説情報］ https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information

〇道路交通情報
［直轄国道］ 国土交通省九州地方整備局 HP https://www.qsr.mlit.go.jp/
国土交通省道路情報提供システム https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/
道路の冠水対策（国土交通省） https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000208.html

＜問い合わせ先＞

【道路に関すること】
国土交通省 九州地方整備局　道路部　道路管理課（内線 2762～2764）
電話番号：092-471-6331（代表）
092-476-3533（直通）

【公共交通に関すること】
国土交通省 九州運輸局　総務部　安全防災・危機管理課
電話番号：092-472-2318

【気象に関すること】
気象庁福岡管区気象台
電話番号：092-401-0950
※２４時間対応・音声案内
気象庁ＨＰ（防災情報）：
https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html

【九州沖縄の道の駅に関すること】
九州・沖縄「道の駅」連絡会事務局
電話番号：0942-50-8890

カーナビポップアップの表示イメージ

【別紙1】

※カーナビの機種により表示が異なります。

九州地方のアンダーパス位置図

250331時点

〇九州地方のアンダーパス 計289箇所（福岡県105、佐賀県38、長崎県18、熊本県35、大分県22、宮崎県33、鹿児島県38）
〇詳細箇所は国土交通省ホームページにおける道路の冠水対策を参照ください
（https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000208.html）

※本図はアンダーパス箇所を示したものであり、本図自体がカーナビに表示されるものではありません。
※カーナビへの注意喚起情報は、アンダーパス箇所への接近に応じて表示されるものではなく、対象地域に配信されます。

【別紙３】

大雨時

アンダーパス危険です！

- 水位が急上昇する場合があります！
- 冠水した道路への進入は命に関わる危険があります！
- 浸水が懸念されるときは車での移動を控えてください！
- 車に脱出用ハンマーを備えましょう！

※国土交通省道路局ホームページに掲載中

①水深が床面を超えたら、もう危険！

【別紙４－１】

国土交通省
九州運輸局

自動車が冠水した道路を走行する場合に発生する不具合について

自動車が冠水した道路を走行する場合、水深が車両の床面を超えると、エンジン、電気装置等に不具合が発生するおそれがあります。また、水深がドアの高さの半分を超えると、ドアを内側からほぼ開けられなくなります。

◆ 浸水による車両への影響については、車両形状や設計により異なります。特に車高が低い車両では影響を受けやすいため、注意が必要です。

◆ 自動車は水深が深い場所を走行できるように設計されていません。大雨等の際には、早めの避難を心がけることはもちろん、冠水した道路に安易に進入しないこと、冠水路で自動車が動かなくなった場合早めに脱出することが重要です。

詳しくは国土交通省のHPをご確認ください。
https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001317808.pdf

②水深が床面を超えたら、もう危険！

【別紙４－２】

国土交通省
九州運輸局

（別紙）

自動車が冠水した道路を走行する場合に発生する不具合について

◆ 浸水による車両への影響については、車両形状や設計により異なります。特に、車高が低い車両では影響を受けやすいため、注意が必要です。

◆ 自動車は、水深が深い場所を走行できるように設計されていません。このため、大雨等の際には、早めの避難を心掛けることはもちろん、冠水した道路に安易に進入しないこと、冠水路で自動車が動かなくなった場合には早めに脱出することが重要です。

1. 自動車が冠水した道路を走行する際に生じる不具合

○ 水深が床面を超えると、車内に浸水して電気装置が故障するおそれや、マフラーから浸水してエンジンルームが損傷するおそれがあります。その結果、次のような不具合を生じるおそれがあります。

- 自動スライドドアやパワーウインドウが動作しなくなる
- エンジンやモーターが停止し、再始動できなくなる

【注意！】 水深が床面以下であっても、走行速度が大きくなると、車両が巻き上げた水や生じた波により、吸気口からエンジンに浸水し、最悪の場合、エンジンが停止して動作しなくなるおそれがあります。また、電気自動車やハイブリッド車では、駆動用バッテリーに浸水すると、車両が停止するおそれがあります。

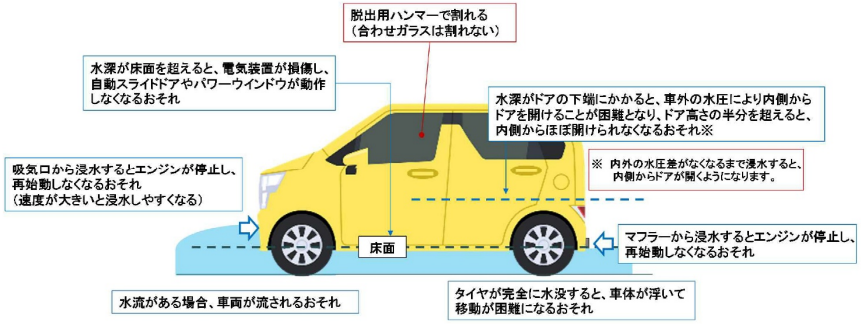
【注意！】 水流がある場合、車両が流されるおそれがあり、大変危険です。

○ タイヤが完全に水没すると、車体が浮いて移動が困難になるおそれがあります。

○ 水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となり、ドア高さの半分を超えると、内側からほぼ開けられなくなります。※1、※2

※1 内外の水の高さが同じになるまで浸水すると、内側からドアが開くようになります。

※2 自動車のガラスは、脱出用ハンマーで割ることができます。ただし、フロントガラス及び一部のドアガラス（各メーカーにご確認ください）は、合わせガラスのため割ることはできません。脱出用ハンマーは、新車購入時にオプション購入するか、自動車の販売店・用品店で購入可能です。



2. その他の注意事項

○ 冠水した道路では、路面が見えづらくなります。水深や道路の端がわからない場所（アンダーパスなど）には進入しないようにしてください。

○ 万が一、車両が水中に落ちてしまった場合には…。

まず落ちついて、シートベルトを外し、窓を開け、脱出します。シートベルトが外れない場合はシートベルトカッターなどで切断します。窓が開かない場合は、水面より上にあるドアガラスまたはリヤガラスを緊急脱出ハンマーなどで割って脱出します。万一に備えて緊急脱出ハンマー、シートベルトカッターなどを運転者の手が確実に届く場所に用意しておきましょう。ガラスが割れない場合は車内外の水圧差がなくなるまで浸水するのを待ち、ドアを開け、脱出します。

出典（一社）日本自動車工業会「安全すてきなカーライフ PASSPORT 2019-2020」P28

○ 水が引いた後も、エンジンをかけないでください。また、発火するおそれがありますので、バッテリーの端子（マイナス側）を外してください。（ただし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及びハイブリッド自動車は、高電圧のバッテリーを搭載していますので、自分で対処せず、自動車整備工場等にご相談ください。）

○ 一度浸水した車両は、運転可能であっても、電気装置等が損傷を受けているおそれがあるため、自動車整備工場等で点検整備を受けるようにしてください。

○ その他車両ごとの注意事項については、車両に備えられているオーナーズマニュアルをご覧ください。

脱出用ハンマー、シートベルトカッターの例

脱出用ハンマー、シートベルトカッターの使い方
（JAF ホームページより）

＜参考＞通行規制情報等の配信サービスとは

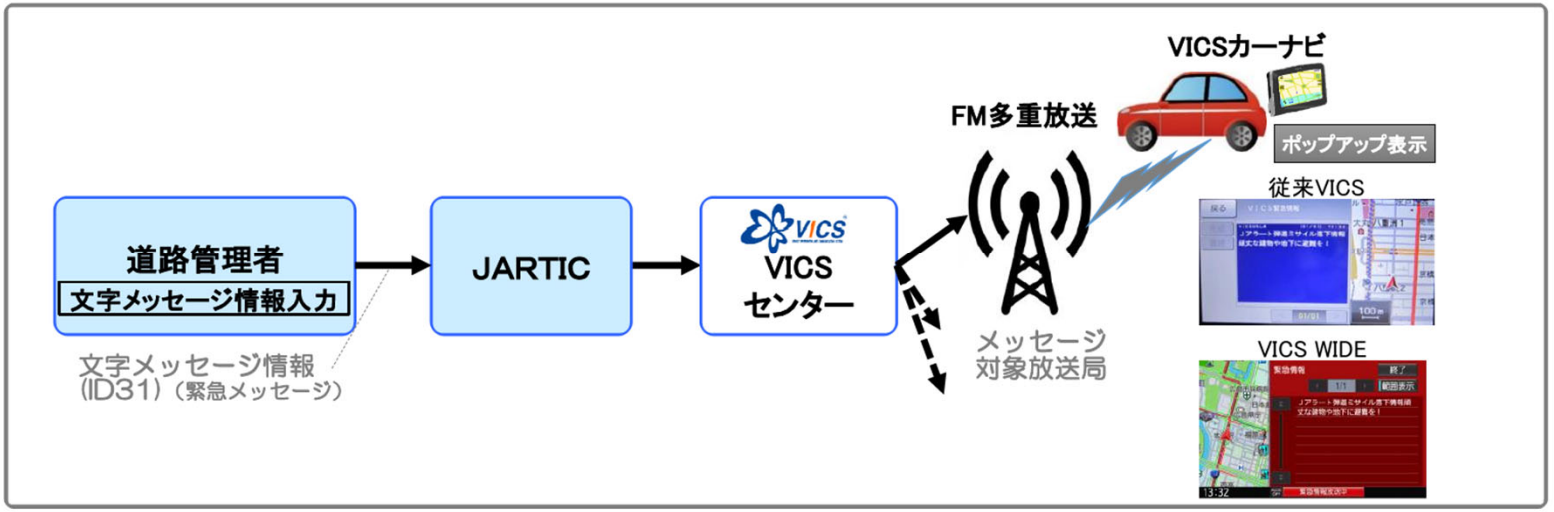
【別紙５】

■概要

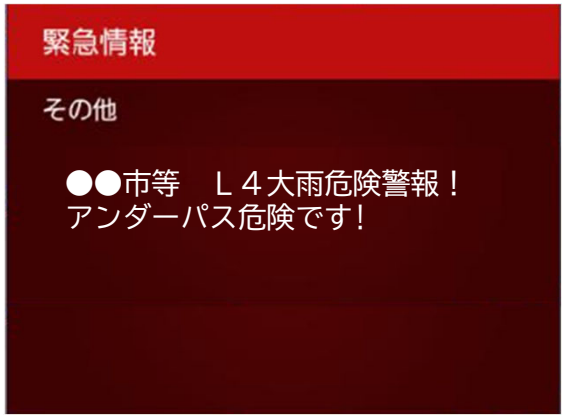
○国土交通省九州地方整備局管内において、異常気象等により通行止めなどがあると予想される場合などに、安全な道路交通を確保するため、通行規制情報を発表するものです。

○通行規制情報等は、道路管理者（国土交通省九州地方整備局）が文字メッセージ情報を入力し、（公財）日本道路交通情報センター（JARTIC）を介して、VICSセンターから国土交通省九州地方整備局管内の各県へFM多重放送にて車載器（カーナビ）へ配信します。

○VICS対応車載機（従来VICS、VICS WIDE）は、通行規制情報等を受信すると車載機の画面上にポップアップを表示し、ドライバーへ情報（最大15文字2行）を提供します。



カーナビ画面イメージ
（緊急情報画面）



※カーナビの機種により表示が異なります。